

2016年11月21日

No.1604

第12回現業評議会大会

12月10日(土)15時から
アイリス愛知百合の間

現 評

愛知県職連合会 現業評議会

名古屋市中区三の丸3-2-1
東大手庁舎 4階
代 表 052-951-4036
F A X 0120-930-340
www.aichikenshoku.gr.jp
gengyou16@aichikenshoku.gr.jp

2016現業評議会学習会開催 全国の現業評議会の取り組み学ぶ

10月29日、アイリス愛知において、現業職員の置かれた状況と取り組みについて、全国の都道府県職労等の情報を得て今後の活動の参考にするため、自治労本部役員と三重県職員労働組合員役員を講師に学習会を実施しました。

全国の現業職員を取り巻く課題

自治労本部総合組織局の船山局長からは、一般行政部門の現業職員数は、2005年から2015年の10年間で約40%減っているという状況や行(二)表への切り替え等による

賃金の見直しについて、総務省の「地方公共団体定期管理調査」資料を使い説明がありました。

また、三重県職員労働組合現業評議会の林副議長からは、職種変更の受け入れの経緯や処遇の話がありました。



厳しい判断を迫られたそうですが、「運動を進めるにあたり仲間の知恵と団結が励みになった。一緒になって運動していきたい。」と、講演を結ばれました。

飽くなき探求と向上心

農業総合試験場

現業職員の職場での奮闘ぶりを機関紙愛知県職で紹介されました。現業機関紙では更に詳しく仕事の内容と様子をお知らせします。

農業総合試験場

畜産研究部 養牛研究室

養牛研究室は、牛の飼養管理、繁殖・育成、牛

乳・牛肉、飼料・飼料作物に関する試験研究を行っています。

試験研究を支える 現場の管理業務

朝の搾乳から始まり、夕方の搾乳までの間に、様々な牛の飼養管理業務を行っています。日々の搾乳作業が一番大変な仕

事です。餌づくり、子牛の哺乳作業等もあります。試験研究業務は、牛の飼養管理、繁殖・育成の課題に加えて、新しい飼料としての飼料米の給与試験、自給飼料の増産のための試験等も行っていきます。



試験研究業務では、正確な計量、計測が求められ、操作の確実性や試験信頼度の向上に、経験豊富な現業職員が貢献しています。

日常管理では、特殊自動車のおペレーター、施設設備及び作業機の保守、



管理、修繕、また自給飼料ほ場の保守管理等多岐にわたり、様々な業務を目まぐるしく行っています。

飽くなき探求・向上 心で技術力を向上

職場で経験を重ね、作業資格を取得し、得意な作業の見直しと苦手な作業への挑戦を繰り返し、常に技術力を向上させて、新規採用者の指導や転入者への技術継承をしています。

大型の家畜の取り扱い は苦勞の連続

体重が600kgにもなる家畜を扱っているため、

扱いの難しさに加えて、足指を踏まれたり、生体間に挟まれる等、苦勞は絶えませんが、恒常的に作業のレベル維持、向上に取り組んでいます。飼料作物作りは、天候の見極めがポイント。

雨天、荒天時での屋外作業など、天気、気候にさらされる職場のため、暑さ、寒さは激しく、自給飼料確保のための天候予測等、気を抜けない厳しさがあります。

試験研究の成果が 働き甲斐に

生き物を扱っ



ているため、飼養管理の作業は毎日違った対応が求められ、その日の対応がうまくいくと、やりがいを感じます。家畜の成長過程が見られることや関わった試験成果が有意義なものであると、働き甲斐があります。

2016年度活動のトピックス



職場集会 13 職場で開催

現業評議会では、2月3月と8月9月の2期に分けて、現業本部役員と組合本部役員が各職場において、意見交換を行いました。

今年度は、給与交渉について、現業組合員の意見集約を行うため多くの職場で実施されました。現業職員の給

9・3 現業決起集会開催



与については、国に準拠した制度改悪を阻止するため、現業組合員のモチベーション確保のため、交渉で最大限の改善を図るよう追及する意思統一を図りました。

人事課との意見交換開催

10月5日、書記局会議室において、現業本部役員と人事課人事グループ、給与グループ、監察室と意見交換会を行いました。

現業組合員の「当面は正規職員で行う業務」について、正規職員でその後補充や主査級への積極的な登用について、



職場での実態、日頃の私たちが現業職員の思いや要望を、積極的に伝えるなど、意見交換を行いました。

県職連合第12回現業評議会定期大会 代議員さんの出席をお願いします。

日時 12月10日(土)
15時から
(受付14時30分から)
場所 アイリス愛知3階 百合の間

